

自分の考えを整理・深化させる活動の工夫

考えを深めるための 意見文作成を取り入れた単元設定の工夫

従来の授業では、生徒は教科書本文の内容を理解するだけで満足してしまうことが多くあります。ここでは、教科書本文に対して生徒が考えたことを、意見文としてまとめる時間を設けることで、さらに考えを深めることを目指します。

1 テーマの提示※

※別紙資料Ⅰ

単元の冒頭で、最終課題は教材に関わる意見文であることを提示することで、単元の目標を明確にし、生徒の授業への意欲を喚起します。

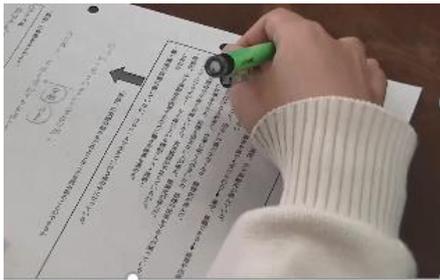
2 本文の読解

1で提示したテーマを基に、本文で注目すべき部分や考えておくべきことを授業の中心的な課題として取り上げ、意見文の材料を用意します。

3 意見文の構想※

※別紙資料Ⅱ

ワークシートを利用し、意見文の構想を立てさせます。



ポイント!

自分の考えをワークシートに書き込み、根拠を挙げたり検証的視点からとらえ直したりしながら言語化することで、考えを筋道立った形に整理することができました。

4 意見文の記述※

評価の観点を意識しながら、意見文を書かせます。

※別紙資料Ⅲ

5 相互評価※

※別紙資料Ⅲ

付箋を利用し、お互いの意見文を評価します。
評価を記入した後、グループで評価について説明と質疑応答を行います。



ポイント!

意見文について、対話的活動を通し、評価の意図や意見文作成者の思いなどを説明する中で、自分の考えが明確化し、考えの深まりが見られました。

6 教師からの評価

生徒同士の評価では不十分な点を、教師からの添削やコメントで補います。

アクティブ・ラーニングの視点による授業改善のポイント

生徒の意見文作成というゴールから逆算して活動を設定することで、1回1回の授業の目標が明確になります。また、対話的活動を通して、自分の意見を他者の視点から見直すことで、生徒が自分の思考を改めてとらえ直し、考えを深めることが期待できます。